

## 平成25年度 市長と語る市政懇談会 東部地区 会議録

日 時 平成25年10月29日(火) 午後6時30分～8時30分  
場 所 室場ふれあいセンター(多目的ホール)  
出席者 町内会長始め団体の代表者 26名、自由参加 11名  
市議会議員  
新家喜志男 議員、工藤光雄 議員、中村 健 議員、  
市 側  
市長、神谷副市長、小島副市長、教育長、企画部長、総務部長、  
福祉部長、地域振興部長、上下水道部長、教育部長、市民病院事務部長、  
消防長、企画部次長、子ども部次長、環境部次長、建設部次長  
進 行 半田恒雄 代表町内会長 <室場小校区>  
提言件数 11件 自由意見 5件

### 【市長あいさつ】

皆さまこんばんは、お元気で何よりです。市長の榊原康正でございます。今日は、ご多用の中を多数の皆さまにお集まりをいただきまして、ありがとうございます。

この地区は非常に自然に恵まれた、すばらしい所でございます。1,000年以上前に慈覚大師じかくだいしが見つけたと伝えられます「平原の滝」があります。今年は7月7日に滝開きが行われ、無病息災を願う神事に多くの観光客が訪れました。これからも市の大切な資源として保存してまいります。

また、市の無形民俗文化財に指定されております「貝吹のかぎ万燈」があります。昨年は悪天候のために残念ながら中止されましたが、今年は予定どおり、お盆の8月14日に行われました。山肌にかぎ形の炎が浮かび上がる、たいへん幻想的な祭りであります。今後も盛大に行われるよう支援をしてまいります。

つくしが丘にお住まいの方におかれましては、これまで「つくしが丘污水浄化センター」で污水处理を行ってまいりましたが、11月からは公共下水道へ切り替わります。これにより多くのご家庭で下水道の使用料金が安くなるものと承知しております。

また、下水道が使えるようになった地区にお住まいの方におかれましては、下水道に接続していただくことによりまして、生活環境の改善はもとより、川や海の浄化に貢献することになりますので、ぜひ早期の接続をお願いいたします。

今、西尾市では、保育園・幼稚園の園庭や小学校の校庭に芝生を植えておりますが、この地区では昨年の三和保育園に続きまして、今年は室場保育園で芝生を植えていただきました。これも地区の皆さま方に維持管理をしっかりとやっていただくことを条件に植えさせていただいております。私も今年は室場保育園の運動会に出席をいたしました。園児の元気あふれる姿を見ておりまして、大きなお力をいただいている効果が随分と出ているなと思っております。今の子どもたちは、外で裸足で跳び回る機会が非常に少ないことが一つの体力低下につながっておりますが、こうした芝生を植えた所は、体力も向上いたしますし、元気いっぱいの活発な子

どもたちが育っております。これからもご協力をお願い申し上げます。

市では、いろいろな事業を行っております。しかし、市でやっていることがあまり市民の皆さまには、しっかりと伝わっていません。そのため今、市で行っていることを皆さまに直接出向いてお知らせする「市民協働ガイド」という制度を昨年度から設けております。10人ぐらいお集まりの会がございましたら、ぜひ声をかけていただいて、説明に伺ったり、皆さまのご意見やご要望をお聞きしたりしたいと思います。どんな会でも結構ですので、ぜひ声をかけていただくようお願い申し上げます。

それとちょうど今、市制60周年の記念事業をいろいろ行っております。行っておりますが、市では、できることに限りがございます。そういった意味で私は、市政運営の一番の柱といたしまして「融和」と「協働」を掲げております。「融和」と申しますのは、合併をいたしまして全市民がお互いに親しくして、「やあやあ」と声を掛け合えるようになっていただき、そして「協働」は、リタイアされている方で、知識の豊富な方やいろいろな体験、技能をお持ちの方がたくさんおみえになりますので、お力をお貸しいただいて、この新しい西尾市を良い所にしていきたいと考えております。

今から皆さま方のいろいろなご意見ご要望をお聞かせいただき、できることはすぐにでもやってみますので、よろしく申し上げます。

#### 【代表町内会長あいさつ】

皆さまこんばんは。室小校区代表町内会長の家武町の半田でございます。常日頃は、東部中学校区の運営につきまして、各町内会長始め各団体の方々にご指導とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

本日は榊原市長を始め市の幹部の方々に、また、地元市会議員の皆さまに直接この地域の意見、要望を聞いていただきまして、市に反映して安全安心で住みよい、豊かな環境を形成していただきますようお願い申し上げます、あいさつに代えさせていただきます。

## 【意見・要望と回答】

### 1 室町町内会長

#### ○ 室町交差点から室場なかよし園間の歩道整備を要望

**室町交差点から東進して、室場なかよし園に行く道路に歩道を設置して、人と車の分離を行い、子供達を交通事故から守る・交通事故を出さない対策の早期具現化のお願い**

この道路は、昔から室場小学校の通学路として、平原町、家武町、室町、室住宅が使っています。昨今は、国道23号への抜け道として、福祉施設の送迎バス車両の増大に加え、室場保育園に引き続き白ばら園と立派な室場なかよし園ができました。このことによって交通量の増大となっています。交通安全対策が後手後手になっていて、私達住民は交通立<sup>りっしょう</sup>噴を行っているのですが、子供達を交通事故から守ることができない状態になっています。

集団登校・下校の列に車が突っ込み、大きな事故が起きるニュースをよく聞きます。こういう事故が発生する前にぜひ、人と車を分離する物的対策をして子供達を交通事故から守る対策を早急にさせていただきたいと思います。

この要望は、3年前から校区・室町町内会から「工事要望」として要望している案件ですが、一向に具現化が進んでいませんので、よろしくをお願いします。

市長／室場なかよし園の開園に際しましては、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

周辺の交通安全対策としまして、グリーンベルトの設置と市営父々橋住宅<sup>ててばし</sup>の用地を使つての歩道拡幅を行いました。決して十分な安全対策であるという認識はしておりません。

そこで、室町交差点から父々橋住宅の区間におきまして、今年度より、用地測量及び実施設計を行いました。来年度に用地取得、物件移転補償を行い、平成27年度には歩道設置を行つてまいりたいと考えております。

付近住民及び地権者の皆さまにおかれましては、ご理解、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

室町会長／大変前向きなお言葉をいただきありがとうございます。平成27年度に実現できるようお願いします。

### 2 三和小校区地域コミュニティ協議会会長

#### ○ 各町内に設置してある防災無線設備を校区や町内の行事関係に使用出来ないか

防災無線を聞いておりますと夕方5時または6時の音楽の他に、行方不明者を探してほしいという連絡を聞きますが、これは命にかかわることで、大切なことだと思います。しかし、それ以外のことは聞きませんので確認ですが、台風や地震、津波、強風、大雨などの警報、避難の指示や避難命令等の放送ができるかどうか確認します。

また、安城市や岡崎市、幸田町で連続放火がありました。西尾でも気をつけるように放送できますか。

要望ですが、昔は三和地区でも室場地区でも有線放送があつて、小中学校の事、保育園の事、幼稚園の事、町内の事がよく放送で細かく知らされて、よく分かったのですが、最近はそういうことがありませんので、防災無線を使つてこれらの放送ができると大変便利です。できるようにしていただけないでしょうか。

総務部長／市は警報が出ましたら、災害対策本部を設置します。先月の台風 26 号の時も夜中中、<sup>よなか</sup>本部で待機し、定期的に巡回したり、これからの風力、風などの状況を分析しながら、どんな対応をしたら良いか考えたりしておりました。警報はいつ出るかわからないものですから、「ただ今、警報が出ました。」というのは、なかなか難しいので、お許しをいただきたいと思いますが、避難勧告につきましては、防災無線を使うと同時に広報車で走ったり、ケーブルテレビを使ったり、自主防災会や町内会長にもお願いをしたり、ありとあらゆる形で連絡をいたします。

同報無線の運用につきましては、「防災行政無線管理運用規程」に基づき運用をしております。放送の範囲は、災害情報、人命に関する事項、市行政に関する重要な事項、その他市長が特に必要と認める事項となっております。明確な基準というものがありませんので、現在は個々の事案についてそれぞれで使用許可の判断をしております。

町内の行事、校区の連絡事項について、同報無線の屋外拡声器を利用したいとのご要望は、せっかくある機材を有効に使うといった観点からも、ごく自然なものと理解しております。

要望事項は、本来の目的とは、異なるわけではありますが、いざ災害が起こった時に同報無線の屋外拡声器が使えないでは、何にもなりません。日頃から使うことにより、有事の時の訓練にもつながると考えておりますので、今後、町内会等での使用について、具体的な取扱いや基準などを検討し、要望に応えられるように検討していきたいと思っております。

コミュニティ会長／ありがとうございました。できるだけお願いします。この前の台風の時、隣の岡崎市と西尾市で警報の解除の時間が違いました。これで小学生は上羽角の子たちは六ツ美南部小学校へ行っており、岡崎市の子は学校へ行っており、西尾市の子は休んでいたという現状がありますので、このあたりも考えていただきますようお願いいたします。

総務部長／ただ今の暴風警報の件につきまして、私どもも大変悩ましく思っています。実は暴風警報にも海上暴風警報というのがあり、海のない所は出ませんので、西尾市よりも警報が解除される時間が早くなり、気象庁はそのように発表します。私どもも何か良い方法がないかと思っています。

### 3 民生児童委員（室場小校区）

#### ○ 定期バス、くるりんバスも通って無い地域に何か良い交通手段を考えていただきたい

一人暮らしの方の訪問に行くと、自転車や車で買物や病院に行っている方が、これから乗れなくなったらどうなるかと心配をされます。室場地区及び三和地区には、交通手段が何もない地域が多くあります。地域の高齢化が進んでいる中、買物や病院に行くにも名鉄バス停・くるりんバス停まで 2～3 km ほど歩かなければならない所が多くあります良い案を考えていただきたいと思っております。

地域振興部長／現在、西尾市では公共交通空白地域対策として、昨年 10 月 1 日からデマンド型乗合タクシーの「いこまいかー」の運行を開始いたしました。このタクシーは一般のタクシーと違ひまして、ご自宅から最寄りの駅、またはバス停までを結ぶサービスで、事前に予約が必要となります。予約時間は朝 7 時から夕方 5 時までで、予約はご利用時間の 1 時間前までをお願いいたします。

直接、目的地まで行けるタクシーではございませんが、次の移動手段となります。駅やバス停まで自宅から行くことができます。例えば、平原の方が市民病院へ行きたい場合、くるりんバスの時間に合わせて予約していただきます。最寄りのバス停が家武になります。家武のバス停を9時18分に発車するバスに乗る場合は、いこまいかーを8時までに予約していただきます。市民病院には、9時43分に着きます。かかる運賃は、1乗車300円です。デマンドタクシーは800円かかりますが、500円は市が負担します。300円出していただきますと、くるりんバスは無料になります。帰りも予約していただければ、600円です。なお、特典として複数乗車（2人以上の乗車）を3回していただきますと、次の1回が無料になります。

毎日の買い物や病院等へ通院する際の移動手段としまして、乗り継ぎとなりますが、室場地区及び三和地区には、東廻り線の六万石くるりんバスと、名鉄東部交通が運行します路線バスの各バス停がございますので、ご利用いただきたいと思います。

また、もう少し改良点があるのではないかと思います。西尾市では、今年度、市全域の公共交通のあり方を示す「西尾市地域公共交通計画」を策定しております。既存の公共交通であります路線バスやタクシーの領域は侵さないようにしながら、今後の計画の中で、市内地域間が不均衡とならないよう、公共交通を見直しておりますので、ご理解くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

民生委員／申し込みは、どうやって行ったら良いのですか。

地域振興部長／リーフレットをお渡しします。電話で予約ができます。予約は最低1時間前までをお願いします。

民生委員／民生委員にもいただけないでしょうか。

地域振興部長／交通対策課に確認して連絡させていただきます。

#### 4 三和小校区代表町内会長

##### ① 東部中学校校区の見直しについて

##### ② 国道23号の振動・騒音対策等について

① 現在の東部地区は三和小校区の高河原町・大和田町及び室場小校区の花蔵寺町の小学生が中学校に上がる時点で西尾中学校へと編入されております。

これは47年前、現在の東部中学校・西尾中学校が移転新築された際に取り決められたことであります。当時の状況としては、つくしが丘団地が出来て、生徒数の増を考慮してか、または、移転場所の問題等詳しい諸状況はわかりませんが、子供たちの意見は反映されず行政等の判断で現在に至っていると思います。

この編入には、良い点、悪い点などがあるかと思いますが、今後、子どもたちの意見、保護者の意見等を十分に調査・研究していただき、時間は掛かるかと思いますが、地域性を考慮し、適切な判断をしていただきたいと思います。

② 国道23号は、現在当地域を2車線で供用されております。道路に近接する住宅の住民の方々より、騒音・振動の苦情があります。市はお聞きでしょうか、お聞きします。

また、国道23号工事は、現在、和気町、江原町、岡島町地内で4車線化に伴う橋梁下部工事が施工されております。この工事部分の4車線化の供用開始日は国よりお聞きでしょうか。

また、今後上部工事を施工するにあたり設計では、近接する住宅地の振動・騒音対策は設計に反映されているかお聞きします。併せて市の考えもお聞かせください。

①教育部長／ご指摘いただいた地域の通学区域は、昭和42年、室場中学校と三和中学校の合併で東部中学校が新設され、同時期に西尾中学校の移転新築がされたため、両中学校の生徒数、通学距離などの諸事情を考慮して現在の通学区域が定められました。

現在は、中学校への通学も2世代目に入り、親が通学した中学校に子どもが通学するという状況になっていると思います。

通学区域の問題は、ご意見ご要望のとおり子どもや保護者を含めた、地域の方々の意見を十分にお聞きしながら、適切な判断をしてみたいと考えております。

②建設部次長／国道23号岡崎バイパスの騒音・振動につきましては、三和南部連絡協議会会長様より工事要望書をいただいております。また、家武町にお住まいの個人の方からも市に相談があり、その都度、国土交通省へも知らせております。

4車線化の件につきましては、現在、安城市の藤井インターまで4車線で供用開始されており、藤井インターから西尾東インターまでを平成27年度供用予定で整備を進めていると国土交通省より伺っております。

振動・騒音対策等につきましては、上部工事及び床版工事におきまして、将来、遮音壁が設置可能な構造を設計されており、交通量の変化等を把握しながら、騒音対策を検討していくと伺っております。

振動につきましては、地盤状況から判断し、予測上は振動超過する状況はなく、振動対策の設計は行っていないとの事ですが、振動は経年変化による路面等劣化により、振動の原因になる場合もありますので、ご意見があった場合、振動の状況を把握し、超過している場合には原因を特定いたしまして、対策を検討していくとの回答をいただきました。

市としましては、地元よりご意見等がありましたら、早期に対応していただくよう、強く国に要望してみたいと考えております。

三和小校区代表／ご回答ありがとうございます。1点目の校区の件について質問ですが、「**地域の方々の意見を十分にお聞きしながら、適切な判断をしてみたい**」と回答されましたが、市として何か行動する考えをお持ちでしょうか。例えば、アンケートをとろうとするのかお聞きしたい。

2点目につきましては、国と連携をとっていただいて、地元のためによろしく願います。

教育長／通学区域のことですが、昭和56年に通学区域を市内全区域にわたって規定をしまして、居住地で指定をしております。不都合があるところもあるわけですが、皆さんの意見をできるだけ尊重させていただいて混乱のないようにしております。

花蔵寺、高河原、大和田につきましては長年の経緯がありまして、町内の皆さん方がぜひ一度調べてほしいと、少なくとも3つの町内会長がそういうご意向をお持ちでしたら、皆さん方がどうお考えをお持ちいらっしゃるかを聞かせていただき、ぜひ参考にさせていただきたいと思っております。担当の方から3つの町内会長に接触をさせていただきたいと思っております。

三和小校区代表／私は3つの町内会長に質問をしております。三和小校区、室場小校区の全体の町内会長がどう思っているのか。というのは当地区の小学校の資源回収とか、子どもたちを良い方向に育てていきたいと活動する東明会が、校区の住民の方がどう思っているのかも視野に入れていただきたいと思っております。

5 室場保育園父母の会会長

○ 公園を近所につくってほしい

○ 親子で楽しめる公園整備について

小さな子供を持つお母さんと、よく話題に出るのが「近くに公園がない！」ということです。幼稚園、保育園に入る前は、特に母・子で接する時間がたくさんあり、家ばかりではお互いにめいってしまいます。幼稚園、保育園に入る前の小さな子が遊べる砂場があり、ジャングルジム、滑り台、ブランコや親と一緒に練習できる鉄棒、うんていなどがあり、気持ちよく体が動かせ、他の親や子どもと日々楽しめる公園を近くに造ってほしいです。

また、休日家族でというと、安城市の堀内公園、碧南市の明石公園、マンモスプール跡地の臨海公園、岡崎市の東公園、南公園など市外で遊ぶ話をよく聞きます。西尾市にもこどもの国がありますが、駐車場が無料で気軽にいける公園があるとうれしいです。古川緑地公園の矢作古川左岸堤防を取り込んだ公園計画が、昨年地元で説明されたそうですが、その計画の内容とスケジュールをご説明していただけたらと思います。

建設部次長／ご意見のとおり、自宅の近くで、親子で安心して遊べる公園が少ないと認識しております。今後、新規公園の整備にあたりましては、公園用地の確保などがネックとなっておりますので、区画整理事業などの街づくりによる整備や、活用されていない用地をお借りし、整備を行う借地公園等も、現在研究をしております。

また、古川緑地公園の矢作古川左岸の公園計画につきましては、親子で楽しめる公園事業の第1期工事といたしまして「レクリエーションゾーン」として、芝生広場、デイキャンプ場、散策路などを計画しております。昨年度より用地取得に着手いたしました。今年度は、八ツ面山と連絡する橋梁の建設を進めており、来年度以降デイキャンプ場などの施設整備を行い、平成28年度の完了を目指しております。

なお、親子で楽しめる公園事業の全体計画の中では、その他に、八ツ面山の既存施設を活用した「遊戯ゾーン」と、古川緑地に隣接した親子と一緒に体を使って楽しめる「遊園地ゾーン」の計画をしておりますので、今後事業化の検討を進めてまいります。

また、市内の愛知こどもの国には、子ども汽車やゴーカート、遊具広場、運動広場などあり、100万㎡と広大でのんびりと楽しんでいただける施設もございますので、ぜひご利用ください。なお、こどもの国をご利用の際はぜひ、名鉄電車をご利用していただきたいと思っております。

今後も、いろいろな公園整備に努力をしておりますので、ぜひ、お母さん方のご協力をお願いいたします。

保育園父母の会会長／ありがとうございます。本当に期待しておりますのでよろしくお願いいたします。

## 6 東明会会長

### ○ 通学路の歩道の整備及び確保について

先日も京都で集団登校する児童が交通事故に巻き込まれました。この校区でも平成8年に東部中学校から西に抜ける交差点で集団登校する児童が巻き込まれる事故がありました。そこで要望というのは、できるところから歩道を設置し、児童の安全を図ってほしいということです。

その事故があつて以来、岡島町の子どもたちは大変遠回りして登校しています。下校時は狭い車道である市道江原室町線を通っています。そこで当市道の尾花町上池田から下池田の間を道路を拡幅して歩道をつけていただきたい。岡島町の神社から尾花町の信号機までの所ですが、用地確保は排水路を埋めて確保できますので、ぜひお願いします。

東中校区は校区が広く、歩道のない通学路がたくさんあります。できる所から歩道をつけていただいて、児童生徒の安全を図っていただきたいという要望です。また、歩道標示（グリーン舗装、時間規制標識等）を検討していただきたい。

建設部次長／交通事故に遭われた方のお心をお察しいたします。また、地域の皆様に交通安全面でご心配をおかけしています。

市道江原室町線の歩道設置要望は工事要望書でも提出されておりますが、水路を暗渠化<sup>あんきょ</sup>しての歩道設置要望と認識しております。水路を暗渠化しての歩道設置は、用地をご協力いただいたの道路拡幅や歩道設置に比べ、事業費が多くかかり事業化が難しく、現在のところ計画はしておりません。

通学路の歩道設置を、できる所からというご要望であります。具体的な要望箇所を示していただき、歩道の連続性の確保や、用地のご協力が得られ、安全対策として有効と思われる箇所について、検討してまいります。

また、歩道表示（路肩カラー舗装）の件であります。歩道設置に比べ低コスト、工期の大幅短縮などのメリットが認められ、県全体で広く採用されており、当市でも地元要望等により、順次施工しておりますので、全体というのは無理ですが、工事要望書にて具体的な箇所を示していただければ、検討してまいります。ただし、安全上、路肩部の有効幅員が確保できなければ設置できませんのでよろしくお願いいたします。

東明会会長／この道路の拡幅についても十数年の要望です。今年は岡島町と尾花町と三和小校区を含めて要望しています。水路の暗渠化ですが、この水路は現在、水路として使っておりません。町内を流れる雨水は、道路を通っていますので、歩道をつけた時に同じように延長していただければ結構です。今の排水路は全く使用しておりません。尾花町からは埋めてもらいたいという要望でありますし、岡島町からは歩道をつけてほしいという要望であります。

建設部次長／しっかりその辺りを勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



## 7 駒場町町内会長

### ○ 市の指定避難場所（室場小学校）が本当に適切なのか、再度検証していただきたい

災害時の避難場所について疑問に思うところがありまして、質問と提案をさせていただきたいと思います。地震発生時の避難場所が室場地区ではすべて室場小学校になっております。室場小学校はご承知のとおり、水田を造成して建てられた校舎です。室場地区では標高が非常に低い場所でありまして、地盤も軟弱になっていると思います。そして東南海地震は東日本大震災をしのぐとも言われています。大津波が発生した場合、広田川を逆流して津波がのぼってこないかという心配もごございます。また、室場小全体が液状化現象で、校舎は大丈夫か、また、歩いていけるのかなど疑問があります。東日本大震災では、学校が避難所になっていて、そこへ避難して、被害に遭われた方がいると聞いております。

風水害の場合は、平原、駒場は東部中学校、室町、家武、<sup>て</sup>々橋住宅、室住宅は室場小学校になっており、平原、駒場が東部中学校というのは非常に疑問です。室町、家武、<sup>て</sup>々橋住宅、室住宅が室場小学校というのも先ほど申しましたように非常に疑問です。市の方は私たちよりも深い考え方があって、避難場所を指定されていると思います。もし、そうであれば、その深い考え方の背景というものを教えていただきたいと思います。

また、提案ですが、市の防災課と各町内の自主防災会と協働で各町の避難方法、避難場所等も構築してはいかがかと思えます。例えば、1次避難方法、避難場所はどうするか、2次、3次を考えていってもいいのではないかと思います。また、その中で問題になるのは支援物資です。物資の輸送、配送ルートはどうするかということも含めて考えていかなければいけないかと思います。これらのことを決めて各町内会に反映して、避難訓練等につなげていければ、もっと実感がわいた避難訓練ができるのではないかと思います。時間をかけてでもこういうことを進めていただきたいと考えています。

**総務部長／まず、室場小学校の標高は、5メートル前後でありまして、平成24年8月に発表されました内閣府の津波浸水想定区域に入っていないことから、指定避難所にしておりまして、他に理由はございませんので、よろしく願いいたします。**

津波は1mですと1km、5mですと5km、川から遡上してきますが、こちらの方の津波の心配は少ないと思います。室小は田んぼでしたので液状化の心配はあります。

避難所ですが、地域の方々が避難所として心配があるということは、重要な問題であると捉えております。毎年、室場小学校区で開かれております校区の防災訓練には、職員も参加しますので、そのような機会にお話をさせていただきたいと思います。また、住民にとって避難所は最大の関心事でありますので、今後、避難場所や避難方法について、地域の皆様と一緒に考えさせていただきたいと思えます。

駒場町会長／東日本大震災では結構想定外という言葉がありました。おっしゃるとおりかも分かりませんが、想定外のことが起きるのではないかと非常に心配しております。

それからもう一つ、室場小学校の周りが液状化になった時に、物資の輸送が現実にはできるのか疑問に思っています。

**総務部長／どこの避難所も絶対に大丈夫というは所ありません。先の大震災で避難所でない所に逃げて助かったという事例もたくさんあります。いざ災害の時には、避難所がもし、おかしくなってしまった場合のことを踏まえて、避難訓練をしておくのは非常に有効なことだと思いま**

す。地域の皆さんは地域の実情をよくご存じです。われわれ市の職員も避難所に出向きますので、一緒に考えていきたいと思っております。

また、外からの物資の輸送につきましては、今現在は、道の駅岡ノ山に全部集合させて、各避難所に配るといような形にしております。道路網の問題もありますが、まず、道を通すことを一番最優先に考えます。11月5日に防災訓練があるわけですが、それをしっかり吸収して行います。もし、そこに行けなかったらどうするのか。避難所に人がいなくて違う所に避難していたらどうなるのか。こういうようなことも含めて、日頃から想定外のことを考えながら、避難訓練をしていくことが重要だと思えます。大変いいお話を聞かせていただき、ありがとうございます。皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

## 8 下羽角町町内会長

### ○ 企業誘致について

私は企業を誘致したことがある町内として意見・要望を述べさせていただきます。市長は6月定例議会の本会議で、2期目への所信表明演説で企業誘致について語られましたが、誘致の目的は何でしょうか。市の財政安定・雇用を増やすためでしょうか。私の東部地域、特に下羽角町は、40年前に大きな会社がありました。

西尾市にとりましては大きな利益になっていると思います。しかし、当地には公共施設などが何もありません。その代わりに交通渋滞は著しく、車が走ると下水道の側溝のふたが緩んでガタガタいって、要望を出してもなかなかやってもらえません。こういう状態でしたら企業を誘致して市に潤ってもらっても当地に何の利益もなければ、今後誘致される、要望される地域がありましても、なかなか難しいのではないかと思います。このことをぜひ要望としまして、今後、誘致する地元の還元策等を考えていただきたいと思えます。

市長／ご承知のとおり、本年の市議会6月定例会の所信表明演説で、新たな企業誘致と市外への転出を防ぐ企業留置<sup>りゅうち</sup>に、引き続き努めていくことを述べさせていただきました。

企業誘致の目的は、安定した財源と雇用の確保に努め、その結果として教育、福祉又は都市基盤などを充実させ、地域経済の活性化を図ることです。

企業が求める用地と市全体の土地利用計画などとの整合を図りつつ、誘致活動を進めておりますので、地元還元策の制度化は困難ですが、利便性の向上を図るための都市基盤の整備は積極的に推進してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

また、企業誘致は各地区との非常に大きな競争となっております。どこの県も非常に有利な条件を出して、何とか企業に来てほしいと積極的に展開をしておりますが、大企業は海外への志向が非常に強いものですから、大変な競争になっております。市としましてもいろいろな企業に働きかけをしておりまして、近くに働き場所があるということが、市民生活にとって安定性の高いことですので、今後ともご協力をお願いします。

下羽角町会長／企業が海外へ出て行くというのはよく把握しておりますが、先ほども言いましたように誘致した町内としましては、市を潤すための目的でしたけど、町内も良くなるためということでもありますので、その辺を市長よろしく願いいたします。

○ **公聴会・市民意見交換会などを開く時は、できるだけ広い範囲の人（年齢、地域、性別等）が集まるよう呼びかけてほしい。**

私が質問させていただきますのは、8月3日にマスタープランの説明会がございました。あまりにもこの意見交換会に参加した人が少なく、市に問い合わせますと「広報に載せていません。」ということで、市民が参加しないのが悪いようなご意見をいただきましたが、先ほど市長もできるだけ市民の声を聞きたいという取り組みをしてみえる割には、少しもの足りないかなと思います。これからいろいろな会合をオープンにして、市民が参加して意見をしてもらうような企画もされていますので、やはり、やられることをできるだけこまめに丁寧に説明していかないとなかなか市民の皆さんも参加できないのではと思います。

特に10年計画のマスタープランというのは本当に、私どもは何をどうされたものかわかりません。6つの地区に分けて説明会をされているようですが、この地区は自然を大切にしようというのというのが、中心になっていますが、10年前も同じような意見ではなかったかなという気もしていますが、大きなプランを私たちが参加してどうのこうのとかできないかもしれませんが、平坂校区でやはり同じことを質問されて説明がなされております。

新聞で見たのですが、「素案がまとまったらパブリックコメントをまとめて皆さんに知らせていきます」というようなお話がございました。パブリックコメントという言葉もなぜ、日本語で説明できないのかと思うのですが、素案ができたから皆さん出なさいよと言ってもなかなか意見が言えるものではないと思います。このマスタープランの中に西尾市もこれからますます人口が減少し、少子高齢社会の時代に入って、財政が厳しくなるということで、都市機能を集中化していこうという方針を持ってみえます。これは、中央もすでにそういうことを手がけて、機能をできるだけ集中して都市に集中させようというプランを持っているところもあります。

西尾市はまだ幸いなことに17万人います。まだ減っていない状況です。裕福な市だろうと思います。そういう心配がない市だろうと思うのですが、これからどうなるかわかりません。地域にはそれぞれの歴史があるわけですから、地域のことを考えないと素案をつくられてもなかなかそれに応じられないと思います。ですから、パブリックコメントをやる時に地域から要望を聞いてその素案をつくらないとみんなが移っていけないのではないかと思います。これから10年間に世の中どういうふうに変わっていくかよくわかりませんが、市長もよく、「歴史と文化を大切にしたい。」と言っており、言葉は非常にきれいですが、本当に文化というのは、西尾市がどういうふうを目指していくのか。そこら辺のところを、はっきり素案をつくる時に提案をしていかないとなかなか引き受けられないのではと思います。

**建設部次長／都市計画マスタープランを策定するにあたり、より多くの市民の皆様からご意見をいただくため、広報紙や市ホームページに市民意見交換会のご案内をさせていただきましたが、町内会長の皆様へのご案内は開催日間近になってからとなり、大変申し訳ございませんでした。**

市では、より多くのご意見をいただくため、市民意見交換会を6地区で開催、その他に西尾商工会議所、一色町商工会、西尾みなみ商工会の役員及び会員の皆様とも意見交換会を開催し、より多くのご意見を都市計画マスタープランに反映できるように努めてまいりました。

今後は、公聴会・市民意見交換会などを開催する場合は、より多くの市民の皆様、幅広い年齢構成の方々などが参加できるようお知らせ等の手法を検討してまいります。

社会教育委員／ありがとうございました。できるだけ多くの方に理解いただくんじゃなくて、参加いただけたらと思います。先ほどくるりんバスの件が出ましたが、平原はデマンドタクシー

を使う例をあげられましたが、市長のあいさつの中には、平原は観光地として大切な資源であるとおっしゃった割には平原を忘れられているような気がいたします。春夏秋冬に多くの登山家が土日にみえています。山を散策される方がこの頃多くみえます。くるりんバスが通ったら参加される方も喜ばれると思います。だいぶ前から平原も早く通してほしいと申し上げているのですが、一度決められるとなかなか変更されないという意見もございますので、ぜひ、地域の実情に合った、地域の歴史を考えた行政にしていきたい。

#### 10 小島町町内会長

##### ○ 旧県道と市道交差点の米野信号交差点の改良工事を要望

米野町の信号交差点は6町の児童・生徒の通学路であります。朝の通勤ラッシュ時に右折帯がないために、車が大渋滞を起こします。朝8時前後になると児童も通学しますので、特に渋滞します。また、江原町より小島町に左折する際、隅切りがないために、非常に曲がりにくく、交通安全上危険であります。等々の危険を解消するためには、現在、南西の角地が空地になっております。是非用地買収をお願いするとともに、米野橋と市道の幅員の違いもあり、橋梁改良計画を考慮した交差点改良工事をお願いいたします。

建設部次長／ご指摘の交差点で、朝の通勤時間帯などの交通渋滞につきまして、市民の皆様にご迷惑をおかけしています。米野橋と野島橋につきましては、現在、橋梁長寿命化計画に基づき、修繕を計画しております。橋梁改築の計画は現在のところございませんので、右折帯設置についても、計画はございません。

しかし、今言われた江原町より小島町へ左折する部分の隅切りにつきましては、現在の横断歩道の移設など、警察と協議が必要となりますので、隅切り部分の取得を含め、今後、検討してまいりたいと思います。

小島町会長／ありがとうございました。少なくとも隅切り部分の取得をしていただき、できれば橋梁を改良していただいて、歩道橋を設置していただけると非常にありがたいのですが、そうすると右折車もスムーズに通れると思います。現在は、交差点の信号が青でも、児童が横断すると車が止まり、ちょっとの時間しか通れませんので、その辺のところを理解して対処していただきたいと思います。

#### 11 室場小校区代表町内会長

##### ○ 市民病院再生のために市民が何かお手伝いできることはありますか

市民病院の再生についてお尋ねします。市民病院は赤字体質、医師不足、また、救急受け入れ率や病床利用率において、多くの問題を抱えており、改善取組みを院長はじめ関係者で進められているとお聞きしておりますが、市民が何かお手伝いできることはありますか。

例えば、国、県などへ市民の署名を集め、提出する事が少しでも役に立てますかどうかお尋ねします。

市民病院事務部長／たいへん温かいご意見をいただきまして、本当にありがとうございます。

おっしゃるとおり、現在、市民病院は多くの課題を抱えておりまして、現在、榑宜田新院長始め職員一同、改善に取り組んでいるところでございます。

皆さまへ間もなく届くかと思いますが、11月1日号の広報に4ページを割いて市民病院のお知らせをしております。ご負担をおかけしますが、地域の皆さまに配布をお願いします。新院長は、熱い思いを持って改革したいという決意を持っております。また、「こういった診療を行っております。」と6点ご紹介しております。広報が届きましたら一読していただきたいと思っております。

特に医師不足は、多くの病院が抱える深刻な問題ですが、県内の病院の中では医師の増員に成功している病院もございます。例えば、新城市民病院は、多くの市民の方が署名活動をして県知事あてに陳情書を提出し、県の地域枠の医師を派遣してもらい復活したと聞いておりますし、津島市民病院では、市民あての地域医療を守る活動が評価され、大幅な医師の増員ができたと聞いております。

医師派遣につきましては、市長始め院長は積極的に要望をしております。私達病院職員もがんばってまいります。市民の皆さまにも、市民運動、例えば署名活動などをしていただき、地域の生の声を県知事等に届けるなどバックアップをしていただければ、大変有効であると考えております。お気持ちに感謝申し上げますとともに、その節にはぜひ、ご協力をお願い申し上げます。

室場小校区代表／署名活動がお役に立てるといいますので、代表町内会長会議に提案し、市民運動に発展していくように働きかけていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

#### 【自由意見】

I 市民Ⅰ（東部中学校区）←（ ）書きはお住まいの中学校区

#### ○ 親子で楽しめる公園のデイキャンプ場のごみの管理はどのようにされるのか

先ほど矢作古川左岸の親子で楽しめる公園構想の話があり、その中にデイキャンプ場がつくられるということで、私の小島町内に一番係わってくることなのですが、ごみの処理、ごみの飛散、夏になると花火が出るなど、いろいろな問題が出ると思います。その辺の管理はどうされるのですか。

建設部次長／ごみの管理につきましては、現在詳しい内容は検討しておりませんが、今後検討し、ご迷惑のかからないようにしてまいります。

II 市民Ⅱ（東部中学校区）

#### ○ 矢作古川沿いの樹木の枝が伸びているので対策を

矢作古川と安藤川のそばに住んでいますが、江原橋付近など川辺の樹木が伸びているのを見かけます。最近集中豪雨がよくあり、当地ではまだ被害が起きていませんが、また、いつ集中豪雨があり、樹木が川に流れて木が引っ掛かったり、堤防を決壊させたりする恐れもあります。国土交通省の管轄だと思いますが、西尾市としてどういう対策をされるのかお聞きしたい。

建設部次長／今、矢作古川と矢作川の分派堰の計画があります。その下流部に対して国が整備をしまして、樹木を一部伐採している状況です。今後、支障があるようでしたら、市から国へ強く要望してまいります。

市民Ⅱ／ありがとうございます。私たちが若い頃は、川に入って遊べましたが、今は樹木などがあって入ることができません。よろしくお願いします。

### Ⅲ 市民Ⅲ（東部中学校区）

#### ○ 既存の公園の点検整備について

既存の公園の点検整備は、どの程度やっているのか非常に気になります。家武町にしても室町にしても10年以上手を加えていないと思われる遊具がありますので、少なくとも室場において最近、どのような点検整備をされたか教えていただきたい。

それから家武町では、1つ遊具がなくなって、その後そのままになっています。新たに公園を造るのもよろしいかと思いますが、既存の公園の整備をどういうふうにされていくのか、教えていただきたい。

建設部（文書回答）／市が管理しております公園の遊具につきましては、毎年2回専門業者による点検を行うなど日頃より安全性の確保に努めているところです。

今年一回目の点検は9月中旬から10月初旬にかけて、目視と打音を主体とした点検を実施しました。点検結果は「室ちびっ子広場」及び「家武児童遊園」の遊具につきましては、不具合の進行状況に注意しながら使用する状況にあるとの判定でありました。点検による指摘事項につきましては速やかに対応し、利用者の安全確保に努めてまいります。

家武児童遊園の遊具につきましては、使用が危険と判定されたため、平成22年度にリングトンネルを1基撤去しました。またこの児童遊園は、他地区の児童遊園と比べた場合、敷地面積に対し遊具数も多く、安全領域を確保するため遊具を新設しておりません。

遊具の更新につきましては、地元の意向を伺い周辺地域の施設との調整を図りながら、古い遊具から順次整備を進めておりますのでご理解下さい。

公園施設の不具合など、お気づきの事がございましたらご連絡いただければ幸いです。

### Ⅳ 市民Ⅳ（東部中学校区）

#### ① 町内を分断する県道に手押し信号をつけてほしい

#### ② 町内で防災無線が聴こえない地域がある

駒場町は昔からの集落と東山という新しい集落があります。県道で分断されており、子どもが夏休みのラジオ体操の時に渡るし、ふだんはお年寄りが渡ります。横断歩道が一つしかないので手押し信号をつけていただけないか。

それともう一つ、先日町内の防災訓練を行いました。町内には防災無線が1か所しかなく、東山の方は聞こえません。そのために我々が車に乗ってハンドマイクで呼びかけているような状況です。今つけている防災無線をキーにして、スピーカーを増設し、聴こえるような対策をとっていただけないでしょうか。

地域振興部長／手押し信号は、今までの市政懇談会でも3か所ご要望がありました。手押し信号をつけるとなりますと両サイドで待避所が要ります。この近くの例ですと岡島町につけました

が、両サイドに待避所をつけてあります。これは愛知県の公安委員会、警察の方が設置しているのですが、年間、市内で2、3か所のペースでしか設置できません。条件の整備が必要ですが、ご要望いただければ、公安委員会に強く要望してまいります。

総務部長／防災無線の件であります、一度現地を見させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

市民Ⅳ／手押し信号について待避所とおっしゃいましたが、要望箇所は両側に歩道がありますので、それでいいのではないのでしょうか。岡島町の設置した所は、片方は歩道がありません。ない方に待避所が設けられています。他に設置してある所を見ますと、歩道が待避所を兼用しているように思います。要望の申請は既にしております。

地域振興部長／ご要望を公安委員会に言ってまいります。

V 市民V（東部中学校区）

#### ○ 西浅井町内の矢作川堤防沿いの道路の整備を要望

西浅井町として工事要望を出しておりますが、当地区はアイシンエーアイさんの工場などがございまして、町内の道路にかなり車があふれております。アイシンエーアイさんの付近から矢作川に出られる道路の工事要望を出しています。長い目で見れば、堤防の内堤側に道路をつくった方がいいのではと思います。

今、岡崎市に入った所は立派な道路があり、予算があるからやっていると聞きます。西尾市の方も道路ができれば、かなり良くなります。我々の川崎地区で出しております、新村町の交差点の交通量もかなり緩和されると思います。長い目で見て検討をお願いします。

建設部次長／矢作川の堤防道路の件でございますが、堤防リフレッシュ道路は、今現在、下流部の中畑町地付近を行っています。西浅井の方は分派堰の工事が終わりましたら、国にやってもらうように要望しています。

市民V／分派堰の話が出ましたが、分派堰の所に矢作古川の方に橋をかけるという話を聞いております。橋と一帯に早めをお願いします。

## 【市長 閉会のあいさつ】

大変長時間にわたり、さまざまなご意見ご要望をいただきまして、ありがとうございます。皆さまのお話をもっともなことがほとんどでありまして、できる限りのことを実現してまいりたいと思っております。防災、減災の対応は来年度も最優先にしていきたいと思います。今、ご心配いただいております体育館の耐震ですが、避難収容施設になる所ですので、すべての体育館を来年度中にやってしまう計画を練っております。一人も命を失わないように、できるだけ早くやっていかなければいけないということで取り組んでまいります。

また、この地域では夢を実現しようということで、その一つの大きな目玉事業であります、憩の農園周辺に農業副都心をつくろうと取り組んでおりまして、いよいよ第一歩を踏み出しました。これは、この地域の観光の集大成を持っていこうということで、農業、漁業、あるいは、いろいろな他のサービス業等充実したものをここへつくりまして、遠くの方からも来ていただけるように実現してまいりたいと思います。

また、先ほど校区の見直しのご意見をお聞きしました。私は校区の方から見直しの話は聞いておりませんが、これには良い点もあると思います。非常に広範囲を知ることができる面もあります。知り合いがたくさんできることは、大事なことでありまして私自身は考えておりますが、見直しをしていかなければいけない部分は見直してまいります。

市民病院の再生について大変ありがたいご意見をいただきました。とにかく、17万人市民の、いざという時の病院が近くにないと本当に困ります。ですから、市民病院は今からしっかりと再建をします。今でもドクター、看護師など病院の職員は、本当に真剣に仕事をしております。実は、私は昨年、市民病院へ3回入院を繰り返しました。入院をしてみて初めてわかったのですが、ものすごくドクター、看護師、掃除の人、給食をまかなっている方すべての方が患者さんのために頑張っています。市民病院は市民の皆さまの一番頼りになる病院として、発展させていかなければいけません。これにはやはり、市民の皆さまの応援体制が大切ですので、どうかよろしく願いいたします。

それと、この地域のすばらしさというのは、住んでいる方はあまり肌身で感じられないと思います。遠くから見ないと良さがなかなかわからない。実は先日、「全国京都会議」を西尾市で開催しました。京都にちなんだ市町が全国で49ほどございますが、25ほどの市町の皆さんがおみえになりまして、三ヶ根山などいろいろな所をご見学いただいて、どなたも「こんなすばらしい所はありませんよ。」と言われました。夜食事をしましたら、隣で食べてみえる方が「これは旨い」とおかわりをしていただきました。おかわりをしていただけるということは、本当に恵まれているということでもありますので、やはり、この地域のすばらしさは遠くからおみえになるとよくわかります。近くにいと、それが当たり前ということで、あまり感じませんが、とにかく私は、この西尾市という所は全国でもまれにみる、住みやすく、いろいろな面で恵まれた土地であると思っております。大きな台風だとか自然災害もあまり発生しておりませんし、近くに勤める所がたくさんあります。農業、商業、工業、漁業、観光業、いろいろな面で恵まれた所ですので、どうかこの地域を全国一、素晴らしい地域にしていきたいと思います。

先ほどくるりんバスのお話も出ました。遠くまで歩いて行かなければ、停留所までいけないということでございましたが、先だって、大分市で「全国都市問題研究会」というのを全国の



市長が集まって行いました。将来はどういうまちづくりをしていかなければいけないかということで、いろいろな議論をしました。講師の方もそれぞれ一流の方がお見えになりまして、講演をしていただきましたが、今から心配されるのは高齢社会になることです。高齢化、少子化がやってきておりますが、とにかく健康な高齢者をつくっていかなければいけない。

それには何が一番大切かという歩かなければいけない。歩くまちづくりをやっていかなければいけないと、どの講師もおっしゃって見えました。愛知県の例があがりまして、二人の講師が「愛知県は全国で一番糖尿病が多い。なぜかというとな国一車の保有台数が多い。歩く距離が圧倒的に少なく、東京都民と比べるとおそらく3分の1ぐらいしか歩いていないだろう。」と言われました。私も東京に行きますと、皆さん歩くのが早いんですね。ですからやはり、私はとにかく皆さまが健康になっていただくためにはバス停まで、なるべく遠いバス停まで歩いて行ってください。私は、平原へ行く時は歩いて行くことが楽しみで、自分の健康法です。この地域の人たちは車にすぐ乗るので、歩きっぷりの悪い方が多い。これを直していくのに大事なことは、歩いて楽しい道をつくらなければいけない。そういうことをどの市町の皆さんもおっしゃって見えます。こんなに歩いて楽しい地域はありませんよ。本当にいろいろな四季を感じながら歩けますから。しかし、本当に歩けない人には、デマンドタクシーがありますが、あまり伝わっていない。市は広報に載せたら、読んでもらえるだろうと錯覚をしている。広報を出しても自分の興味のあることしか読まない。ですから、最初申し上げました「市民協働ガイド」の制度を設けましたので、市の宣伝をさせていただきたいし、皆さまの生の声をどんどん聞かせていただきたい。皆さまぜひご利用ください。

それと先ほど心配されました、今から人口減少社会がやってまいります。この西尾市も2040年、あと27年後には、人口が約2万人減ります。これは厚生労働省の統計で出ております。全国の都道府県で減少し、1億人を割るかもしれない状況がやってまいりますので、いらない道路、いらない公共施設は、絶対につくる余裕はありません。先ほど橋の問題も出ました。橋も耐震化をしていって、補強していくというようなことで、全国でこういう状況が起こっております。全国の公共施設や橋、道路を維持管理していくのに年間8兆円以上のお金がかかります。ですから、そういったことをしっかりとお考えいただいて、これからの社会をつくっていかないと我々の孫子の代になりますと維持管理ができなくなります。すでにそういう状況が起こっておりますので、そういうことをお考えいただきながら我々の後輩たちのために、より良いまちを残していきたいと思っております。

今度、総合体育館で「あいち花フェスタ」を11月1日から4日まで開催いたします。ぜひ、皆さまのお知り合いの方、3人以上に電話していただいて、「見に来て。西尾はいい所だ。」と声をかけていただきたい。すばらしい催しで、「アグリフェアにしお」もやっており、地域でできるいろいろな物産の販売もいたします。ぜひ、皆さまで声をかけていただきたいと思いません。長時間ありがとうございました。